

施策項目1

SDGs・ESDの推進

施策の方向性 ～10年後を見据えて～

- SDGs*達成のため、子どもから大人まで全ての道民が、現代社会における地球規模の様々な課題を「自分事と捉え」て「解決に向けて考え」、「行動する力を身に付ける」とともに、「新たな価値観」や「行動変容」をもたらすESD*を推進します。
- 環境教育、国際理解、気候変動などの個別分野を持続可能な開発の視点から統合した、分野横断的な教育を全ての学校で取り組み、未来像を予測して計画を立てる力や多面的・総合的に考える力、他者と協力する態度などを育成することを目指します。
- 学校と地域など多様な主体が連携したESDの実践を通して、「北海道SDGs推進ビジョン*」に示された北海道の「めざす姿」の実現につなげます。

主な取組

- **持続可能な社会の創り手を育む主体的・対話的で深い学びの実現**
 - ・ 地域の施設や人材等の教育資源を活用した体験的な学習活動の促進
 - ・ SDGsに係る研究などに取り組むスーパーサイエンスハイスクール*指定校の先進事例の普及・啓発
- **学び考え行動する環境教育の推進とゼロカーボン*実現に向けた環境整備**
 - ・ 持続可能な社会の構築に向けて、SDGsの視点に立った環境教育の推進
 - ・ 再生可能エネルギーの活用等による環境負荷の低減に資する教育施設への転換
- **多様性を尊重した共生社会の実現に向けたESDの推進**
 - ・ 子どもたちの発達の段階に応じた、多様性の尊重や価値観の異なる他者との共生の実現に向けた人権教育の展開
 - ・ SDGsの実現に向けて、異なる文化や習慣をもつ同年代の若者と意見交換を行うなど、高校における協働的な学びの実践
 - ・ 関係機関との連携による障がい者の学びのニーズや特性に応じた学びの機会の確保及び取組の支援
- **包摂的かつ持続可能なイノベーションの推進に資する人材の育成**
 - ・ 産学官が一体となった教育課程の改善を図る職業人材育成システム*の強化
 - ・ 知事部局や関係機関との連携、ICTを活用した在宅就労など多様な働き方を視野に入れたキャリア教育や進路指導等の充実
- **地域と連携したESDの推進**
 - ・ 公民館等の社会教育施設を拠点とした、地域活性化や地域創生に向けた取組への支援
 - ・ 世界文化遺産の保存・活用に対する道民の理解形成と意識高揚を図るための普及啓発の推進

持続可能な地域づくりへの提言
【中学校】

地域をよりよくするための方策などを考える学習を通して、社会の形成者としての自覚を高め、社会に参画しようとする態度を育てる

- 地場産業等の実地調査に基づくプレゼン
- 全校集会に招待した自治体職員と意見交換

地域合同防災訓練
【学校・地域】

地域（幼稚園、学校、町内会）と連携した避難訓練により災害時の高校生の役割を体験的に学ぶ

- 高校生が園児の避難誘導や避難所を設置
- 町内会員は避難所を疑似体験

こんな取組もESD!
(実例紹介)

登山による自然体験活動
【青少年教育施設】

登山を通して自然や環境について学び、自分達にできる環境保全について考える

- 歩き方、登り方など登山に必要な知識の習得
- ゲーム形式で学ぶ環境教育

留学生とオンライン交流
【高校】

英語の授業で道内大学留学生とオールイングリッシュでオンライン交流し、国際理解の促進と英語学習意欲の向上を図る

- 生徒が外国の基本情報などをプレゼン
- 留学生が質問、生徒がその場で回答

【推進指標】

指 標	現状値	目標値(R9)
SDGs に関する体験活動を実施している小・中学校の割合	小 50.1%, 中 46.4% (R4)	100%
SDGs・ESD に関する問題解決的な学習活動に取り組んでいる高校の割合	79.0% (R4)	100%
学校経営方針に位置付け、SDGs・ESD に関する問題解決的な学習活動に取り組む特別支援学校の割合	9.0% (R3)	100%

教育政策課



担当課 HP

●SDGs : Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)

2015 (平成 27) 年 9 月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」に記載。17 のゴール・169 のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない」ことを誓っており、2030 (令和 12) 年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標。

●ESD : Education for Sustainable Development (持続可能な開発のための教育)

現代社会の問題を自らの問題として主体的に捉え、人類が将来の世代にわたり恵み豊かな生活を確保できるよう、身近なところから取り組むことで、問題の解決につながる新たな価値観や行動等の変容をもたらす、持続可能な社会を実現していくことを目指して行う学習・教育活動。

●北海道 SDGs 推進ビジョン

2018 (平成 30) 年 12 月に北海道が策定。本道における SDGs 推進のため、理念や意義、「めざす姿」、課題と対応の方向などを示すもので、道内の多様な主体が互いに共有する基本的な指針。

●スーパーサイエンスハイスクール

高校等において、先進的な理数教育を実施するとともに、高大接続の在り方について大学との共同研究、国際性を育むための取組の推進、創造性・独創性を高める指導方法、教材の開発等の取組を実施。文部科学省が研究指定校を採択し、科学技術振興機構 (JST) が活動推進に必要な支援を実施。

●ゼロカーボン

温室効果ガス排出量と森林等による吸収量を同量とし、実質ゼロにすること。

●職業人材育成システム

第 4 次産業革命の進展、デジタルトランスフォーメーション、6 次産業化等により、産業構造や仕事内容は急速に変化していることから、農業科や水産科などの専門高校において成長産業化を図る産業界と絶えず連動した職業人材を育成するシステム。